

「むろのき通信」第26号

～ 鞆町内の広島県と福山市の事業についてお知らせします～

2023 (令和5) .7.19

発行：広島県東部建設事務所
 鞆地区まちづくり推進事業所 (084-921-1311)
 鞆出張所 (084-982-2701)
 福山市建設局土木部港湾河川課 (084-928-1260)

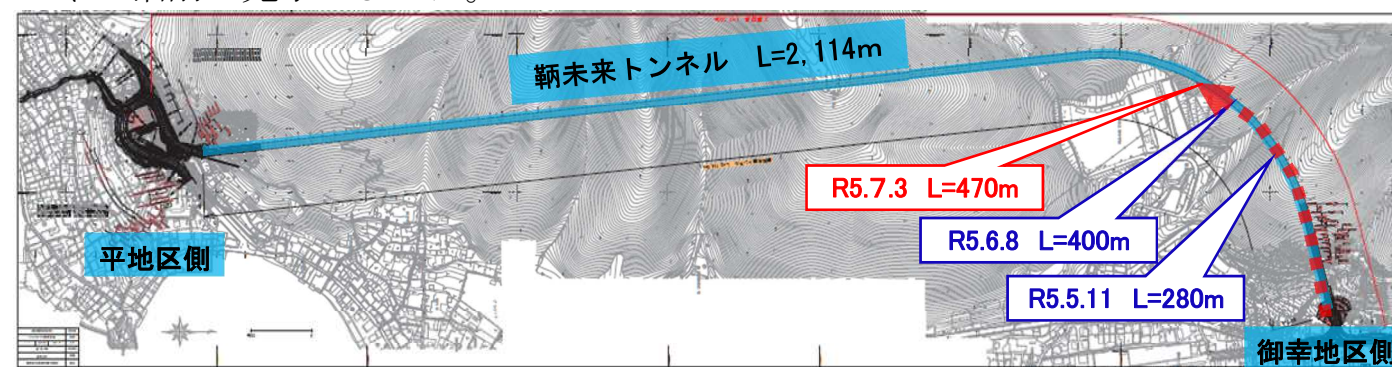
平地区でのトンネル掘削に着手しました

平地区において、令和3年6月からトンネル関係の工事に着手し、現道を迂回する接続道路の整備やトンネル掘削に向けた仮設ヤード・仮設備の整備等を完了させ、7月17日からはトンネル本体の掘削に着手しました。この間、地盤が硬く接続道路や仮設ヤードの掘削が難航し、近隣の皆様や通行される皆様に大変ご迷惑をお掛けしました。今後もトンネル本体工事においてご迷惑をお掛けしますが、引き続き、ご理解とご協力をお願いします。



鞆未来トンネル関係(御幸地区)の工事について

御幸地区におけるトンネルの掘削状況については、7月3日現在で、約470mのトンネル掘削が完了しました。



先月はインバートコンクリートの打設や排水工の整備が多かったため、5月に比べ掘削延長は短くなりました。

また、御幸地区では8月上旬より、トンネル掘削と並行しながら、防水工や覆工コンクリートの打設を開始します。写真(右下)のセントル(移動式型枠)を使用しながら、1回あたり約10.5mの覆工コンクリートを打設していきます。

【大型車両の運行状況】

トンネル本体の掘削開始後は、以下のとおり多くの車両の出入りが発生します。出入口には交通誘導員を配置しますので、注意して通行されるようご協力をお願いします。

掘削土砂運搬	トンネル掘削時	10tダンプトラック	110台/日(最大)
資機材運搬	砂、碎石	10tダンプトラック	10台/日(最大)
	セメント	12~14tローリー車	2台/日(最大)
	生コンクリート	10tミキサー車	30台/日(最大)
	機械設備	10t~15tトラック	随時

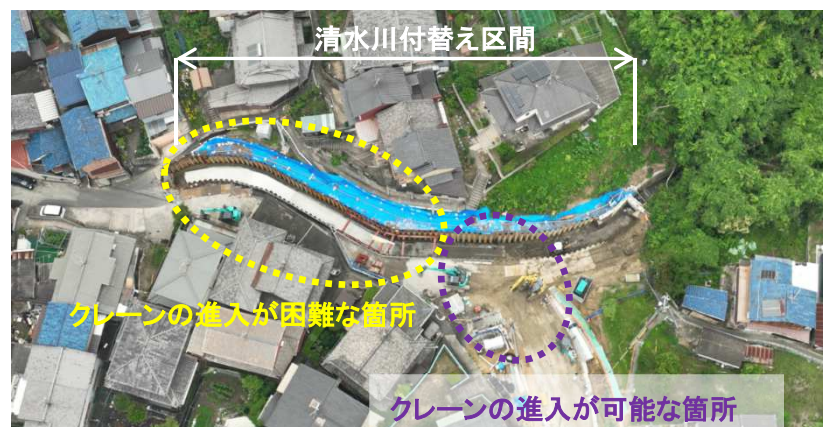


※「むろのき通信」は、広島県ホームページ【 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/217/muronoki.html> 】、福山市ホームページ【 <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kowankasen/> 】にも掲載しています。

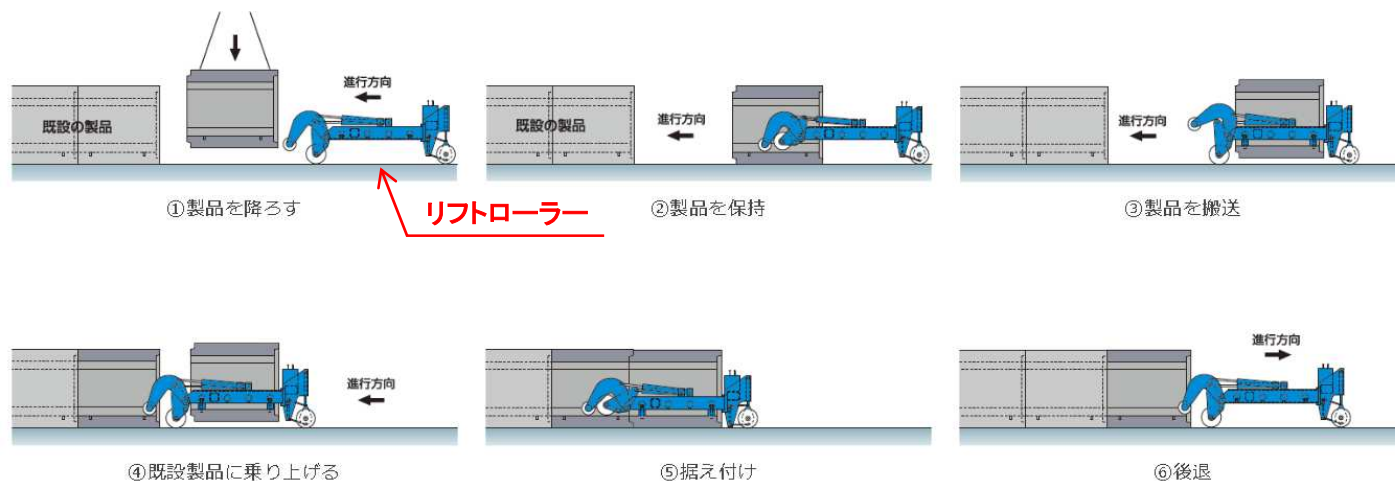


平地区アクセス市道の工事について

平地区で整備中のアクセス市道については、清水川の付替えに伴う矢板の設置・床掘が完了し、ボックスカルバートの施工に着手しております。一般的にボックスカルバートの施工はクレーン等で吊り上げて直接設置しますが、当該箇所では、施工ヤードが狭く下流部までクレーンが進入できないことから、『リフトローラー』という特殊な機械を用いて工事を行っています。



【リフトローラー工法の施工手順】



【他の工事箇所の施工例】



リフトローラー工法は上記写真のように狭隘でクレーンの据付が困難な箇所において採用されています。

当該現場での施工状況



交通・交流拠点(原地区)の状況について

原地区における交通・交流拠点の整備状況については、6月下旬に概ね埋立が完了しました。今後は埋立地の沈下計測【約6カ月間】を行った後に、水路工（ボックスカルバート）の施工を行います。当面は護岸周辺の工事を行う予定です。

また、当該地区に設置を予定している浮棧橋の製作工事を発注し契約が完了しました。当面は工場で作成することから、現地作業はありません。

【施工業者】

三井住友建設鉄構エンジニアリング(株)

【工期】

令和5年7月4日～令和6年3月29日

【工事概要】

浮函製作 N=1函(L=36.5m,B=17.0m,H=2.7m)
進水・輸送工 N=1式



井戸調査の実施について [継続]

県で実施している鞆未来トンネルを含む関連工事の周辺において、井戸の水位・水量・水質、また沢や水路の流量等について、令和3年7月から調査を実施しています。今後の工事による影響を判断するために、調査を継続して実施します。

【委託業者】

(株)ヒロコン

【調査期間】

令和5年6月22日
～令和6年3月29日

【業務概要】

自記水位計観測 N=10 箇所
簡易水位計観測 N=33 箇所
その他観測 N=19 箇所
合計 N=62 箇所

【備考】

○これまでに井戸の所有者の皆様へは、調査結果を随時報告しており、その際に「井戸の使用について支障をきたしている」等のお声はいただいておりません。

これまでの調査結果の例

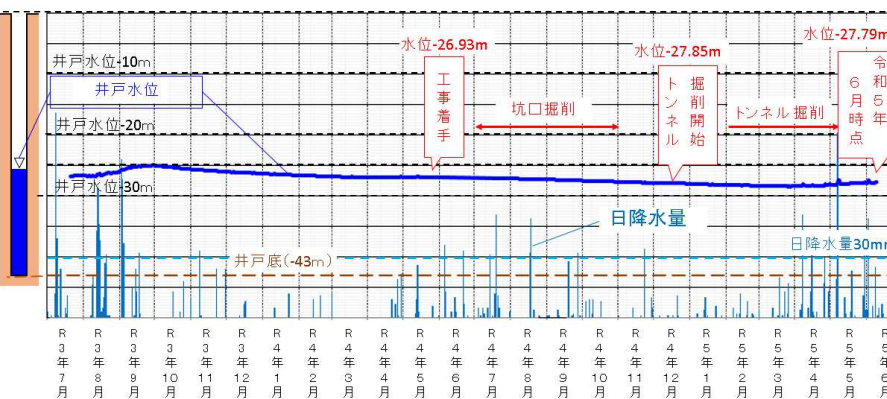


表-調査結果



【調査結果の考察】

○令和3年9月以降の継続した水位低下は、令和4年度の降水量が過去10年で最も少なかったことが影響している。
○御幸地区側の坑口やトンネル掘削開始以降も、井戸水位は概ね一定で、工事による井戸への影響は生じていない。

